

私の大原ベストポジション



大原草紙



第72号
令和2年8月
夏季号

井出町 山崎信夫



カンテラ灯るころの下瀬界限

大原の玄関口八瀬への道「下瀬界限」堰堤を右に昇る林道が旧街道。首なし地蔵が置かれ木々に覆われた難所には怪談伝説が伝わる。この街道沿いには所々に水飲み場があり、下瀬にも山肌の窪みに湧水が出て、柴を売りに行った人の休憩の場、日々の商いの情報交換の場でもあった。

旧制中学生だった昭和19年、工場や田畑へ学徒動員される毎日で、授業どころではない。晩秋のある日、綴喜郡の稻刈りの帰りに自転車の下瀬まで戻って来て、湧水を飲み川べりの切株に座ったがいつしか寝入ってすっかり暗くなっていた。自転車のカンテラの灯りが止まり、顔見知りのおじさんが水を飲みに来たので「オッサン」と声を掛けると、おじさんは「ウオーツ」と叫んで下瀬の坂を駆け上って行ってしまった。挨拶のつもりだったのだが…。

タクシーに乗っていた浴衣姿の女性がこの辺りでいなくなる。バックミラーに映らなかった女性が振り返ると後部打席に座っていた…。この界限をめぐる話のほんの一部分。ここは人気の怪談スポット。この夏の納涼に、深夜散策されてみては。

(山崎さんのお話を編集部西田が文章化致しました)

NPO法人京都大原里づくり協会 第19回総会報告

- 1 去る6月6日、第19回総会が開催されました。今回の総会は「コロナウイルス禍」の中であるため、会議開催を取りやめ議決書によるものでした。
 - 2 議決書と出席者の議論によって次のように当面の活動等を取り決めました。
 - ① 出席者・昨年度理事・事務局8名 委任状50名
 - ② 主な決定事項
 - 事業報告、決算、事業計画、予算原案で承認
 - 里づくり協会の今後については、1〜2年間かけて会員との意見交換を行いながら方向性を探ります。その間の役員体制は、現体制を維持して進めます。
 - 「大人の大人の提言」「里づくり会」「御香水支援」「水生生物調査」「惟喬親王法要」等の開催はウイルスの感染が危惧されることから、休止せざるを得ない。
 - 以上の状況から今年度の会費は徴収しない。
 - 大原草紙は従来通り発行する。
- 創立20周年を迎え存続か解散かの分岐点の里づくり協会**
- 2001年9月2日に結成総会を開催した「京都大原里づくり協会」創立の目的
- ① 将来の大原像を研究、プラン作成、行動、するボランティア組織
 - ② 大原内の各種団体は行政、業界と連携し活動するが、当協会はこの各種団体と連携しつつ会員が労力と知恵と金を出し合って大原の住みよい町づくり
- 今後の課題は、創立当時の会員の高齢化と退会。働き盛り世代の減少で世代交代の進まない中で、この先の存在をこれから1〜2年の中で会員の意見を聞きながら模索して行きます。



緊急事態宣言解除後、感染拡大を予防するため政府の専門家会議は、「新しい生活様式」を示しました。大原地域で公務に就かれる人、テレワークで仕事をされる人に書面でお尋ねしました。

感染リスクの高い 左京消防署大原出張所の 第三部福井威仁主任

■ 1 業務上の変化

Q1 コロナ禍の前後で仕事の手順が変わりましたか

A1 対外業務、行事の制限。マスク、換気、消毒の徹底。在宅勤務時の映像等の研修。緊急出動時、感染防御のためフェイスガード等の装備の徹底など。

Q2 昨年5月と今年5月の緊急出動数の比較

A2 昨年5月25件
今年5月14件

Q3 仕事中感染の危険を「大変強く」「強く」「感じない」近い気持ちは。

A3 感染の危険を「強く」感じる。

Q4 業務上感染のリスクは「高い」「普通」「低い」と感じますか。

A4 感染リスクは「高い」と感じ

ている。

■ 2 私生活や個人の感想

Q5 コロナ禍の影響は「大変強い」「強い」「変わらない」近い気持は。

A5 「強く」感じる

Q6 いちばん近い影響は何ですか「経済的」「生活全般」「特にない」「その他」

A6 「生活全般」に影響が出ている。

Q7 来年の夏、8月頃の生活イメージをお尋ねします。

A7 ワクチンがない限りは安心できない。他の職員、家族に感染させないよう、終息するまでは「新しい生活様式」に基づいた生活していると思います。



【コロナ禍後装備】



【コロナ禍前装備】

京都府警下鴨警察署

大原駐在所 井田玄輝さん

■ 1 業務上の変化

Q1 コロナ禍の前後で仕事の手順が変わりましたか

A1 本部、各警察署の勤務者は緊急事態宣言発令後、感染予防のため、交代で在宅勤務等の措置を取っていたが、駐在所については勤務時間、勤務内容は変わらなかった。

Q2 昨年6月と今年6月の緊急出動数の比較

A2 昨年に比べ、地域行事がほとんど中止になり、事件・事故の通報も減少しているが、緊急事態宣言解除前に比べると若干であるが通報件数は増加傾向にある。

*参考・緊急事態宣言中の110番件数は例年の25%減

Q3 仕事中感染の危険を「大変強く」「強く」「感じない」近い気持は。

A3 感染の危険を「大変強く」感じる。

理由・事件・事故の現場、駐在所への来訪者等、不特定多数の人と接触するため。

Q4 業務上感染のリスクは「高い」「普通」「低い」と感じますか。

A4 感染リスクは「高い」と感じている。

理由・事件・事故の現場、駐在所への来訪者等、不特定多数の人と接触や変死等の感染リスクの高い現場へ臨場するため。

■2 私生活や個人の感想

Q5 コロナ禍の影響は「大変強い」「強い」「変わらない」

A5 「強く」感じる

理由：業務はほとんど変化がなかったが、生活面については、いろいろと変化があったため

Q6 いちばん近い影響は何ですか「経済的」「生活全般」「特にない」「その他」

A6 「生活全般」に影響が出ている。

理由：緊急事態宣言発令により、学校・幼稚園が休校・休園となり子供が毎日

家にいる生活、外出自粛等生活スタイルに大きな変化が見られたため

Q7 来年の夏、8月頃の生活イメージをお尋ねします

A7 来年の8月頃どうなっているか正直わからないが、希望としては、ワクチン等が開発され、コロナウイルスが終息し、いつもどおりの日常生活が戻ることを期待しています。



京都大原学院 野口治久先生



先生はソフトテニス部の顧問として部活の指導もされています。

■1 業務上の変化

Q1 コロナ禍の前後で仕事の手順が変わりましたか

A1 大きく変わった。「会議増・年間行事や日常の取組み再検討など」「事務増・報告書、課題作成など」「オンラインミーティングの研修、準備、実施」

Q2 昨年6月と今年6月の業務量の変化はありますか。

A2 休校中の5月までは減、6月は昨年同期に比べて増。

Q3 仕事中感染の危険を「大変強く」「強く」「感じない」近い気持は。

A3 感染の危険を「強く」感じる。

Q4 業務上感染のリスクは「高い」「普通」「低い」どれと思いますか。

A4 感染リスクは「高い」と感じている。

■2 私生活や個人の感想

Q5 コロナ禍の影響は「大変強い」「強い」「変わらない」近い気持は。

A5 「強く」感じる

Q6 いちばん近い影響は何ですか「経済的」「生活全般」「特にない」「その他」

A6 「生活全般」に影響が出ている。

大原に移住され日浅い

戸寺町の西山賢吾さんは

テレワーク（在宅勤務）中です

■1 業務上の変化

テレワークによって仕事上の基本的な変化はありませんか。

Q1 日常の業務遂行に際してコロナ禍によって、手順は変わりましたか。

A1 コロナ以前より、遠隔地とのインターネット会議や出張先での個人作業は一般的でした。なので、あまり自由なくテレワークに移行で来た。一方で通勤にかかる時間がなくなり、自己啓発や家族と過ごす時間が増え、生活も充実するようになってきています。

Q2 昨年6月と業務量の変化はありますか。

A2 変化なし、相変わらず忙しいです。幸せなことです。

Q3 テレワークで良い所、困るところはそのようなことですか。

A3 ・良いところ
① 何はともあれ、大原の自然の中で働けることです。
② 生活時間の充実。家族との食事や水撒きなど。
・困るところ
① 夕方の会議に否応なしに子供が参加してきて困ります（笑）
② 仲間とのフェイストゥーフェイスのコミュニケーションに飢えています。人と直接会うことの価値を問い直しています。

■2 私生活や個人の感想

Q4 あなたにとってコロナ禍の影響は次のうち近いものはどれですか。「大変強く」「強く」「変わらない」

A4 大変強く

Q5 その一番大きなことはどれですか。「経済的」「生活の全般」「特にない」「その他」

A5 その他 テレワークしかり、今までの常識が一瞬のうちに半強制的に崩壊しています。新しいより良い社会をつくるチャンス到来だと思えます！

Q6 来年の夏、8月頃の生活イメージとしてどのように過ごして居られますか。

A6 オリンピックは本当に行えるでしょうか？コロナと社会活動の両立が当たり前になっており、同時に新しい生活が定着し、ピフォアコロナよりも良いと思える生活を送ってほしいですね。



大原に関わる4名の方にアンケート形式でお尋ねしました。未熟な取りまとめで、ご回答者様のご本意でない点ももしありましたらお許しください。ご協力有難うございました。

藤村紫朗と佐竹作太郎

上田 壽一

熊本藩士藤村紫朗は、上洛して尊王攘夷運動に参加。幕府の襲撃で負傷した彼は、大原小出石の佐竹宇右衛門家に匿われて治療する。この時、宇右衛門の息子作太郎と出会う。

新政府で山梨県令となった彼は、作太郎を連れて山梨に入った。その後作太郎は山梨第十銀行の頭取となり、さらに衆議院議員になっている。

ここまではインターネットでも分かる事ばかりだが、誰も知らない青年作太郎の逸話を紹介したい。明治四年青年作太郎は外国語を学ぶ府立欧学舎の学生であった。その時知人鶴飼恭助が重病で大阪の病院に入院。その彼を当時大阪まで見舞いに行ったのだ。

本来ならば学校に断り行くべき所、

無断で行ったので「三十敲き(たたき)の笞(むち)の刑」となった。しかし、恭助が大変重症であったとして、忒両吉歩の罰金となった。彼の人柄が分かる逸話であろう。

以上で作太郎の話は終わりにしたいが、彼を育てた小出石村について少し触れてみたい。小出石は若狭から京への入口に当たり、宿場ではないが、宿を営む家が何軒もあり、特に朽木の武士達が利用していた様だ。その環境が作太郎を育て、更に新しい教育、更に友人思いの人柄が明治の大事業家を生み出したのであろう。



佐竹作太郎

れんさいマンガ
* 71 *
アズマツネオ



第3回 大原提言大人編 論文募集

京都大原学院9年生による「大原提言発表会」にならう第3回「大人の「大原提言」を実施します。今回はコロナウィルスの感染拡大を防止するため、当大原草紙の紙面で提言発表会と致します。提言の応募規定は次のとおりです。皆さまの応募をお待ちしています。

- テーマ 大原の未来への提言
- 論文の長さ 800字以内
- 手書き原稿またはデータによるもの、どちらでも結構です。
- 応募締切 手書き原稿 8月23日(日) データ原稿 8月30日(日)
- 発表 大原草紙第73号「秋季号」紙上
- 採用数 4件
- 応募多数の際は選考委員会で選定いたします。
- 問合せ 大原草紙編集係 西田誠 090・4649・0633

いま京都 大原学院で

ソフトテニス部では
■ 休校中は全く練習できず、トレーニングは個人任せであった。
■ 6月15日からは、2時間までの練習が認められたが、ソフトテニス部は元々短時間の練習で濃く効率的な良い練習を目指していたので、大きな困りはなく活動再開していた。

部活動再開の陰で

ソフトテニス部の活動で最も危惧していたのは、休校中のテニスコートの「荒れ」であった。(土のコートは日常の使用と整備が無くなる)と荒れ放題となって、簡単に再利用とはいかない。)ところがこの休校期間中、地域の方や管理用務員さんがほぼ連日のようにコート整備やコート周辺の整備を続けて下さっていた。そのおかげでスムーズに練習再開できています。役員一同大きく感謝しています。

表紙の横顔

山崎信夫さんのプロフィール

「急な雨の時、駐在所に傘を預けてあるから使って」今年傘寿の井出・戸寺登校班のみまもり隊が日課です。「カンテラ」提灯と懐中電灯の間にあった。茶筒状の缶にロークの火、前面はガラス張り。暗闇のケータイ照明器具。